

ハイグレード・オーディオ用純銅ターミナル・キット

SP-10WS (ステレオ用) SP-10WM (モノラル用) 19,25,32ミリ・フリーピッチ

自作アンプの工作でスピーカー・ターミナルの穴あけ加工は意外に厄介です。

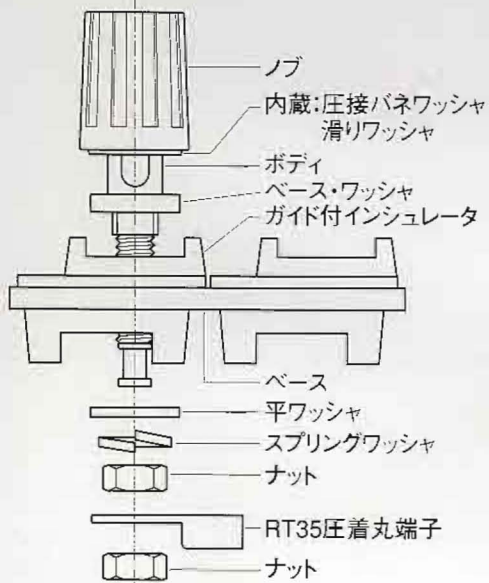
SP-10Wはラフな寸法精度で正確なターミナルの間隔を**19ミリ、25ミリ、32ミリと自由に設定**することが出来ます。

絶縁物は耐熱性、自己消火性、耐薬品性、強度の優れたエンジニアリング・プラスチックを使用、高周波絶縁性、誘電体損失の少ない素材を使用しています。

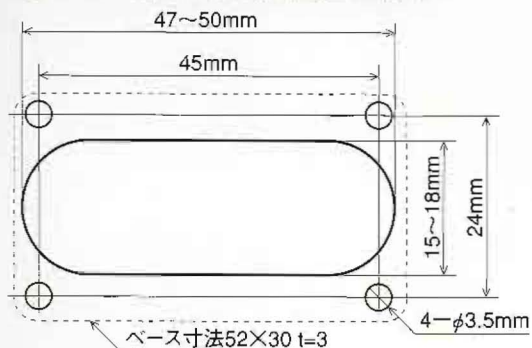
導電部分のボディは高純度の無酸素銅(OFC)を使用しニッケルなどの磁性体を含まないダイレクト硬質純金メッキにより境界面歪みや微小電流から大電流まで歪みなく流すことができます。(基本素材はハイグレード・オーディオ用SP-10と同じです)



【SP-10W組立図】



【シャーシ、SP-10W取付穴あけ図】



■SP-10W組立法

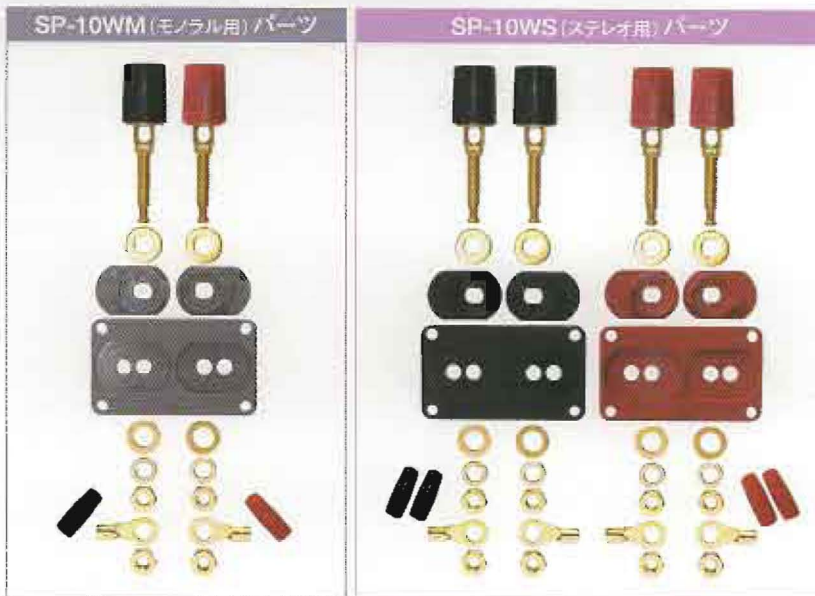
ステレオの場合 (SP-10WS) 左チャンネルは黒色、右チャンネルは赤色のベースを使用します。モノラルの場合 (SP-10WM) はグレー色のベースとガイド付インシュレータを使用します。

- ターミナル間隔19ミリの場合はベースの穴内側2箇所を使用します。
- ターミナル間隔25ミリの場合はベースの穴内側1箇所、外側1箇所を使用します。
- ターミナル間隔32ミリの場合はベースの穴外側2箇所を使用します。

■SP-10Wの組立図 (部品はほぼ原寸大です)

ターミナル間隔に合わせてガイド付インシュレータを内側或いは外側にセットします。

ホット側は赤色、グラウンド側は黒色を使用するのが一般的です。(モノラル用は何れもベースと同色) ナットはしっかり締付けます。ボディに直接ハンダ付けの場合は、圧着端子は不要です。



特許取得番号:No.3132363

製造元 テラダ・エンジニアリング&プロダクツ

開発元 テラダR&D